

令和7年度 6月補正予算案の概要

令和7年5月29日
5月市長定例記者会見 資料

財政課 ☎21-8765



補正予算案の概要

| 会計別 | 令和7年度当初予算額 (A) | 6月補正予算額 (B) | 6月補正後予算額 (A+B) |
|--------|-------------------|----------------|-------------------|
| 一般会計 | 1,059億8,000万円 | 15億1,826万1千円 | 1,074億9,826万1千円 |
| 特別会計 | 964億8,060万円 | 4,947万1千円 | 965億3,007万1千円 |
| 公営企業会計 | 350億3,300万円 | — | 350億3,300万円 |
| 合計 | 2,374億9,360万円 | 15億6,773万2千円 | 2,390億6,133万2千円 |

令和7年度 保険者機能強化推進交付金 (成果指向型配分枠)4,078万円の採択

介護予防事業として、令和4年度から取り組んでいる「オーラルフレイル地域集中啓発事業」を、厚生労働省の交付金「保険者機能強化推進交付金(成果指向型配分枠)」に申請。

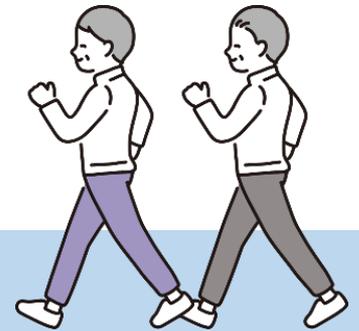
➡ 優れた取り組みとの評価を受け、令和7年度の対象に採択。

県内では唯一

全国で評価の高い15自治体の一つに選ばれました。

保険者機能強化推進交付金(成果指向型配分枠)

- 保険者(市町村)による高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた取り組みを、客観的な指標で評価し、達成状況に応じて交付金額が決定
- 令和7年度から「**成果指向型配分枠**」が創設



成果指向型配分枠

- 地域包括ケアの構築に向けた基盤整備や取り組みの充実に、すでに一定程度取り組んでいる保険者が対象
- さらなる健康寿命の延伸に向けて、地域のデータ分析に基づいた課題を把握し、対象者・成果目標・評価指標を設定した上で、介護予防・健康づくりに取り組む保険者に対する新たな支援

オーラルフレイル予防の取組

オーラルフレイル：口の機能のささいな衰え

平塚市は、フレイルサポーターによる住民主体のオーラルフレイル予防教室に取り組んでいます。

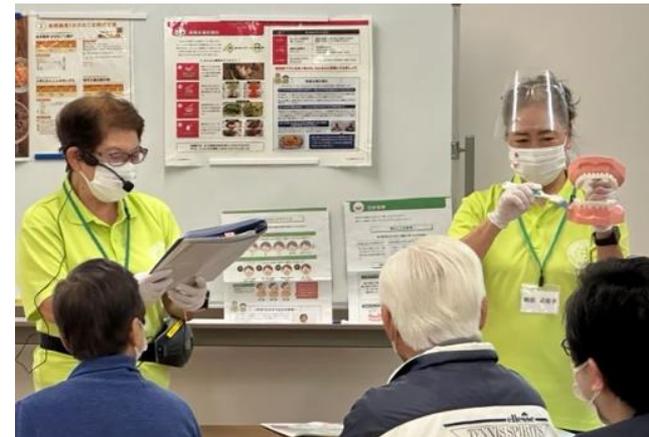
全国で先進的な取り組み

- ・ 当事者目線のアイデアを取り入れた「オーラルフレイル予防教室」や「フレイルチェック測定会」を開催
- ・ 高齢者よろず相談センター等による通いの場やサロンでの啓発



オーラルフレイル地域集中啓発事業

- ・ 令和4～6年度に産官学民連携で実施
- ・ 対象は花水、なでしこ地区の40歳以上の住民
- ・ 通常の予防教室の他に、商店街や自治会、医療機関、薬局などにポスター掲示とリーフレット配布して効果を検証
- ・ その効果はオーラルフレイルの認知度向上と発症予防、フレイルリスク悪化の抑制により、介入地域において、要介護状態になる方の増加を抑え、年間介護給付費が約880万円抑制できると試算



➡ 令和7年度以降は、市域全体で展開できる方法で普及啓発事業を実施します。